

さいたま市省エネ・断熱住宅普及促進補助金 補助対象事業詳細表

●契約事業者が作成した「内訳が分かる見積書」を必ず添付してください。
 ※補助対象経費との整合性が確認できない場合、書類不備となる可能性があります。
 ●補助金額の計算の詳細は、ホームページに掲載している計算シート (Excel) を参考にしてください。

【1 補助対象の選択・経費内訳等】				申請者氏名				
	↓申請する項目にチェック	メーカー名	型式・商品名等	(1) 補助対象経費	(2) ポイント還元額 ※1	(3) 国・県等の補助金合計額 (想定額)	(4) 市補助金申請額 ※2	
新築	① <input type="checkbox"/>	ZEH		(税抜) ※3 円	<input type="checkbox"/> 無 円	<input type="checkbox"/> 無 円	円	
	高効率給湯機		※以下の②～⑤から1種類のみ申請できます。					
既築	② <input type="checkbox"/>	エコキュート		(税抜) 円	<input type="checkbox"/> 無 円	<input type="checkbox"/> 無 円	円	
	③ <input type="checkbox"/>	ハイブリッド						
	④ <input type="checkbox"/>	エネファーム (家庭用燃料電池)						
	⑤ <input type="checkbox"/>	太陽熱・地中熱 利用システム						
	★ <input type="checkbox"/>	加算の有無 ※対象外の場合は記入不要	加算要件確認 (口に✓) ※以下の(a) (b)のどちらも満たすものが対象 <input type="checkbox"/> (a) ガス給湯機・電気温水器 (エコキュートではない) からの切り替え工事であること ※エコキュート⇒エコキュートやエネファーム⇒ハイブリッド等は対象外 <input type="checkbox"/> (b) 国 (給湯省エネ2026事業) の補助金額が次の値以上の機器であること エコキュート: 10万円、ハイブリッド: 12万円、エネファーム: 17万円					※4 (上限5万円) ※左の(a) (b)に✓を入れてください。
	断熱改修		以下の⑥・⑦どちらか1種類のみ申請できます。 複数製品の使用により枠内に書ききれない際は、製品一覧表を添付すること。				埼玉県補助金が交付されるか不明な場合、県補助金欄は空白にする。 【実績報告時には申告が必要です】	
⑥ <input type="checkbox"/>	部分改修 (窓・扉が対象)			(税抜) 円	<input type="checkbox"/> 無 円	国補助金 <input type="checkbox"/> 無 円	円	
⑦ <input type="checkbox"/>	全体改修 (躯体工事必須)					県補助金 <input type="checkbox"/> 無 円	円	
	↑申請する項目にチェック	メーカー名	型式・商品名等	(1) 補助対象経費	(2) ポイント還元額 ※1	(3) 国・県等の補助金合計額 (想定額)	(4) 市補助金申請額 ※2	

(5) 市補助金申請額の合計 ※5 円

- ※1 クレジットカード等での支払いによるポイントや契約事業者の独自ポイントの合計 (円に換算した金額) を記入してください。ポイント還元の有無に応じて、ポイント還元額 (円) を記入するか「口無」に✓してください。ポイントは、円に換算した金額を補助対象経費から差し引きます。なお、ポイント付与が無い場合、金額の記入は不要です。
※支払い前の場合、各ポイントサービスで定められているポイント還元率から想定される金額を記入してください。
 ※円換算の例: 100ポイント=1円で500ポイント付与の場合 ⇒ 5円と記入
 【例】補助対象経費20万円で、クレジットカード払いでのポイント (1%還元) と独自ポイント (0.5%還元) が付与された場合
 クレジット分: 20万円×1%=2,000ポイント (円) 独自ポイント: 20万円×0.5%=1,000ポイント (円)
 ⇒ (2) ポイント還元額は「3,000円」と記入
- ※2 補助金額は以下のA・Bのいずれか低い額 (1,000円未満切り捨て)
 A: (1) 補助対象経費から (2) ポイント還元額と (3) 国・県等の補助金合計額 (想定額) を差し引いた額の1/3
 B: 裏面の表に示す補助金額 ※Aの計算式: 補助額=[(1) - (2) - (3)] ÷ 3
- ※3 ZEHの補助対象経費: 高断熱外皮、空調設備、給湯設備、省エネルギー設備、創エネルギーシステム、エネルギー計測装置 (HEMS) に係る購入費用、設置費用、工事費用、BELSの認証費用
 ※全項目を満たさなくても、補助金が上限額となる経費分 (250万円以上) のみ計上していれば審査に差し支えありません。
- ※4 加算額は以下のA・Bのいずれか低い額 (1,000円未満切り捨て)
 A: (1) 補助対象経費から (2) ポイント還元額と (3) 国・県等の補助金合計額 (想定額) を差し引いた額の1/3から5万円を差し引いた額 ※Aの計算式: 加算額= [{ (1) - (2) - (3) } ÷ 3] - 5万円
 B: 5万円
- ※5 (4) の欄の合計額を記載
 なお、併申請は、給湯機の内1種 (上限10万円/内加算5万円) と断熱改修の内1種 (上限10万円or5万円) のみです。

補助対象一覧

	補助対象（要件）		補助金額（上限）	
新築	Z E H		「ZEH」の認証をBELS評価書で取得	30万円
既	断熱改修	全体改修	【要件】 ①断熱等級5以上の認証をBELS評価書等で取得 ②躯体（外壁等）の工事は必須	10万円
		部分改修	【対象工事】 ●断熱窓の設置 ●ドア交換 【要件】 熱貫流率(U)1.9以下の製品を設置 ※工事方法や対象製品の詳細は <u>先進的窓リノベ2026事業（国の補助金）</u> を参考にしてください	5万円
築	高効率給湯機	エコキュート	※対象製品の詳細は <u>給湯省エネ2026事業（国の補助金）</u> を参考にしてください。	5万円
		ハイブリッド		
		エネファーム		
		太陽熱・地中熱利用システム		次の①と②のどちらにも該当する場合に加算 ①ガス給湯器・電気温水器からの交換工事 ②給湯省エネ2026事業（国の補助金）での補助金額が次の額以上の機器 ・エコキュート：10万円 ・ハイブリッド：12万円 ・エネファーム：17万円
加算				

※その他、詳細な条件は交付要綱等にてご確認ください。

※国の補助金のホームページは、さいたま市の補助金ホームページのリンクよりご確認ください。

※補助対象経費から国、県の補助金等の収入額を控除した額の1/3又は、表に示す補助金額のいずれか低い額を補助金の額とします。ただし、各補助対象事業の補助金の額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てて得た額とします。

提出前に再確認！！※表面（補助対象事業詳細表）のチェックリストです。

- 申請者名（表面）を記入しているか。
- 添付書類の見積書で補助対象経費の金額が確認できるか。
※見積書での確認が難しい場合、補助対象経費内訳書を作成してください。（ホームページで参考様式を掲載しています。）
- 支払方法に応じたポイント還元額を記入しているか。また、円に換算した金額を記入しているか。
※ポイント付与の有無（有の場合は金額も）が記載されていない場合、書類不備となります。
※「円」の単位で記入してください。
- 国・県等の補助金額（想定額）は記入しているか。（申請前でも、申請予定の場合は必ず記入してください。）
※国の補助金は、概ね交付対象となっています。
※交付申請後に補助金額が変更となった際は、「変更承認申請書」と併せて「補助対象事業詳細表」を改めて提出してください。
- 補助金の合計額（1,000円未満切り捨て）は記入しているか。（記入漏れが多い箇所です。）